生成AI特許分析ツール6製品の比較と導入戦略

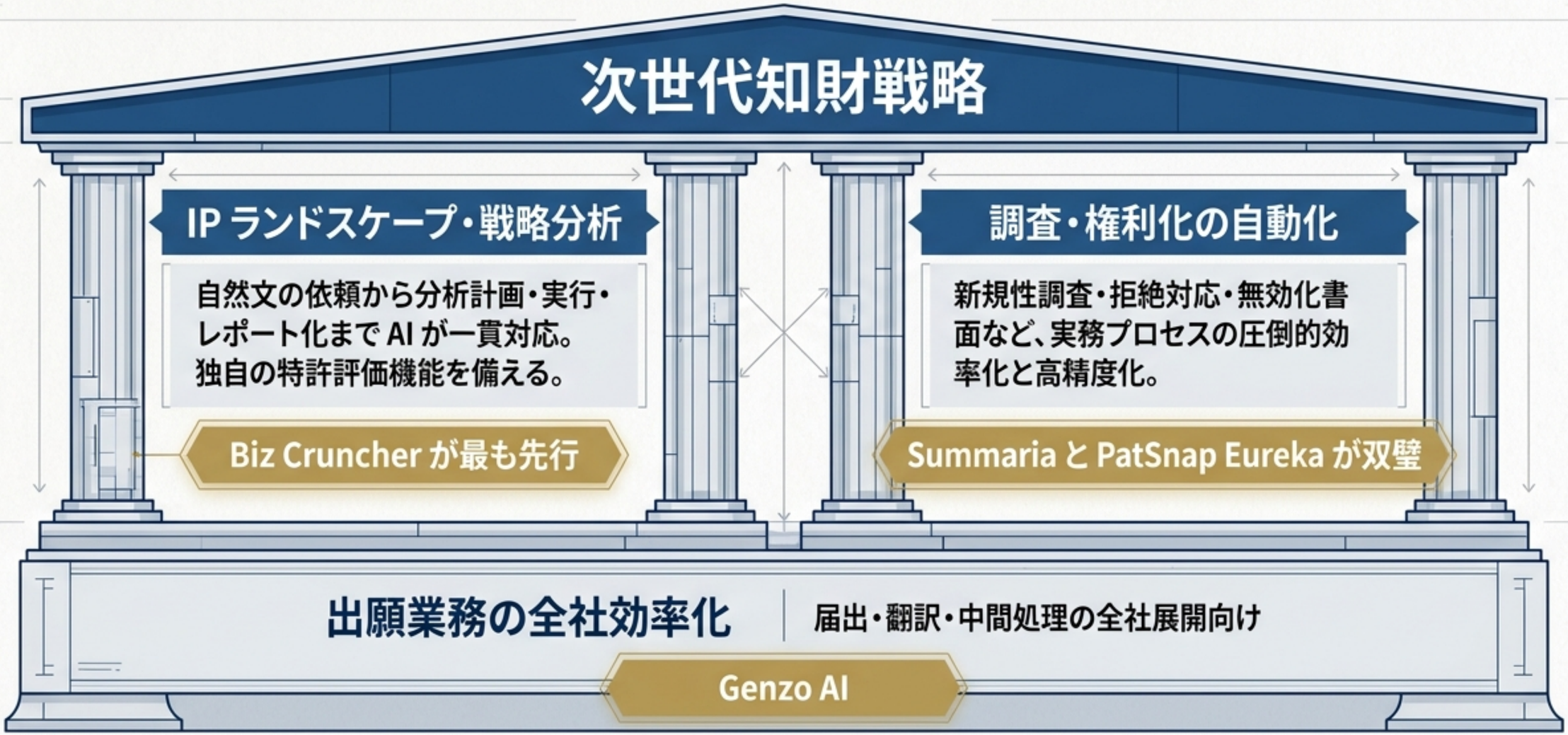
経営・知財戦略を牽引する次世代ツールの選定と実行ロードマップ

役員報告 | 知財・技術戦略部門向け（2026年10月改訂版）

対象：Biz Cruncher / Patentfield AIR / PatSnap Eureka / Summaria / Tokkyo.Ai / Genzo AI

Gemini Notebook

1製品での完全網羅は不可。
「分析」と「調査・権利化」の2本立て戦略が最適解



Gemini Notebook

比較対象6製品の全体像（カテゴリーマップ）

IP分析型

特許母集団の分析を主眼

Biz Cruncher

自然文からの自動分析＆
レポート生成、AIレポート、
パテントスコア

年契約・料金公開

Patentfield AIR

最大1万件の一括AI査読、
独自分類、マップ連携

AIR 月3万円～/ID＋基本プラン

業務支援型

調査・権利化業務の自動化を主眼

Summaria

弁理士監修。調査・分類・
拒絶対応・無効化書面

月8,000円～2.5万円・年契約

Tokkyo.Ai

社内資料を取り込む自律調査、
仮想知財部

月3.5万円/ID

Genzo AI

届出・翻訳・中間処理。
調査系は2026年夏以降順次

年間100万～1,500万円・詳細個別見積

総合型

両方のエージェントを揃える

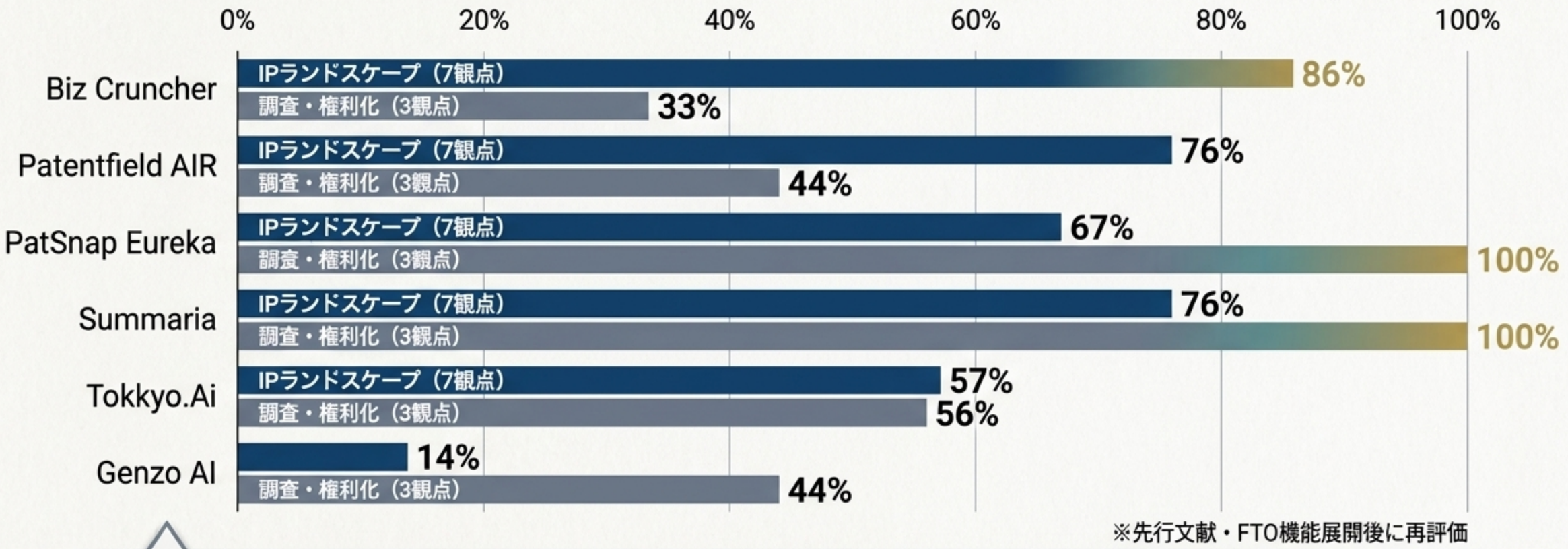
PatSnap Eureka

新規性・FTO・明細書・
競合調査のAIエージェント群

検索Pro $400/月、ドラフトPro $200/月

Gemini Notebook

領域別の評価スコア：各製品の強みは二極化している



※先行文献・FTO機能展開後に再評価

Summariaは両領域で7割以上を得るが、依頼から報告書までの全自動化では Biz Cruncherが先行。やはり「組み合わせ導入」が最も現実的。

Gemini Notebook

詳細機能評価マトリクス（15の評価観点に基づくヒートマップ）

	Biz Cruncher	Patentfield AIR	PatSnap Eureka	Summaria	Tokkyo.Ai	Genzo AI	合計点（45点満点）
IPランドスケープ・戦略							**31**
①特許母集団の一括AI分析							**36**
②自然文からの自律分析							
③IPLレポート・考察の生成							
④競合分析・ホワイトスペース							
⑤AI分類・ラベル付与							
⑥パテントマップ連携							
⑦特許の質の評価指標							
⑧個別特許の読解							
調査・権利化・基盤							**28**
⑨先行技術・新規性調査							**15**
⑩FTO・侵害予防							
⑪明細書・拒絶理由対応							
⑫外部情報・R&D発想							
⑬API・MCP連携							
⑭日本語・国内サポート							
⑮料金の透明性							

Gemini Notebook

【分析領域】IPランドスケープ・戦略分析を牽引する2大ツール

Biz Cruncher

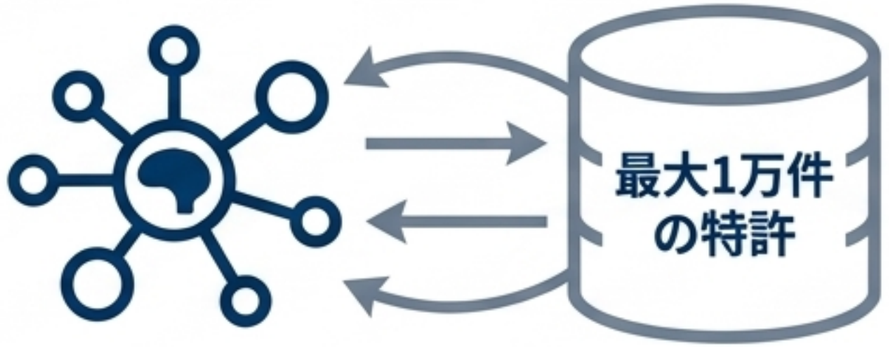
最も具体的・先行



- AIの出力から根拠データへ1クリックで遷移可能。「パテントスコア」による特許の質の評価。

Patentfield AIR

ポートフォリオ一括分析に強み



- 最大1万件の一括AI査読。母集団全体をAIが分析する「ポートフォリオ分析」とマインドマップ出力。Web検索等組み込みツール連携。

Gemini Notebook

【調査・権利化領域】実務の自動化を牽引する双璧

Summaria

圧倒的コストパフォーマンスと国内実務への特化

- 月額8,000円～（コーポレート月2.5万円～）の低価格。
- 特許検索競技大会の過去問で正解26件を上位30件で捕捉（再現率100%）。
- 最大50個の検索式自動提案と段階的スクリーニング。
- 意見書・無効審判請求書の案を校閲記録付きWord出力。

PatSnap Eureka

グローバル基準の総合力と強力なAIエージェント

- 新規性調査で40以上の検索戦略を並列実行、特徴対比表作成。
- 強力なFTO・意匠FTOエージェント。
- 米・欧・中の基準に対応した明細書作成・拒絶理由対応。

Gemini Notebook

【全社基盤】大規模知財部向けのエンタープライズ・ワイルドカード

Genzo AI（島津製作所系）

ユーザー数無制限で全社展開に最適（年間100万～1,500万円）。

現在
（先行提供中）

- 届出（発明提案書）
- 翻訳（英・中）
- 中間処理

2026年夏以降
（順次展開予定）

- 先行文献調査
- FTO
- 契約書レビュー

※明細書案と図面内テキストの翻訳も対応予定

島津製作所の社内事例として、FTO調査を「数ヶ月から2週間未満」に短縮した実績あり。長期的インフラとしての検討価値高。

用途別・目的別 診断テーブル (Which tool to choose?)

	目的	第一候補
経営層向け	IPランドスケープを短時間で作る	Biz Cruncher
独自分析	独自の切り口で大量の特許を分類・査読	Patentfield AIR / Summaria
総合調査	競合・市場・論文まで横断した技術調査	PatSnap Eureka
精度向上	先行技術・無効資料調査の精度向上	Summaria / PatSnap Eureka
効率化	FTO（侵害予防）を大規模に効率化	PatSnap Eureka / Summaria
効率化	拒絶理由対応・無効化書面の効率化	Summaria
全社基盤	出願・翻訳・中間処理を組織全体で効率化	Genzo AI
現場支援	研究現場で発明を掘り起こす	Tokkyo.Ai
汎用AI連携	社内AI（Claude等）から特許DBを使う	Summaria / PatSnap Eureka

導入に向けた4つの戦略的チェックポイント（リスクマネジメント）



公称値の独自検証

「約80%短縮」「精度2倍」などはベンダー公称値であり第三者検証は未確認。PoCでの自社データ検証が必須。



機能の急速な変化

Tokkyo.Aiのランドスケープ機能やGenzo AIのFTO機能など、数ヶ月単位で機能が追加されるため、半年ごとの再評価が望ましい。



隠れたコストの把握

Biz CruncherのAIオプション、PatSnapのEnterprise版、Genzo AIの詳細など「要問い合わせ/個別見積」領域が存在するため事前見積が必須。



情報管理とセキュリティ

未出願発明の保護。SummariaはISO/IEC 27001取得済・AI学習利用なし。Genzo AIは国内AWS運用。Tokkyo.Aiは専用環境提供。要件定義が必要。

次のステップ：導入判断に向けた4STEPロードマップ

Step 1: 候補の絞り込み

(期間: 1ヶ月)

領域ごとに候補を選定（分析：Biz Cruncher/Patentfield、調査：Summaria/PatSnap)。※全社効率化ならGenzo AIも追加。

Step 2: 比較検証 / PoC

(期間: 2〜3ヶ月)

自社の重点分野で「同じ母集団・同じ問い」を与え、正確さ・日本語品質・処理時間を直接対決させる。

Step 3: セキュリティ審査

(Step 2と並行)

未出願発明の入力可否、学習利用の有無、各種認証(ISO/IEC 27017, ISO/IEC 27001, SOC 2)を情シス部門と連携し確認。

Step 4: 最終導入判断

(PoC後)

効果（工数・外注費削減）と年間費用を比較し、領域ごとに最適な1製品を本稼働へ。

まずはSTEP 1として、対象ベンダー2〜3社への見積もり・PoC打診からスタートを推奨します。

Gemini Notebook